

この度、第 124 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

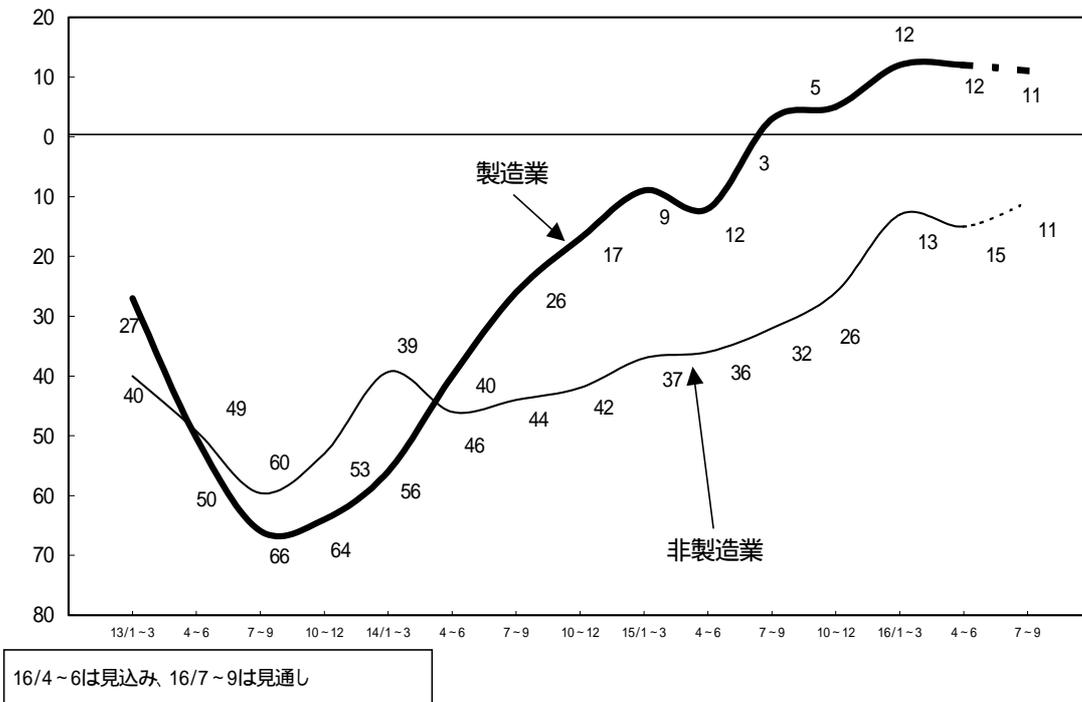
企業の景況感は、製造業、非製造業ともに緩やかな回復基調にある。

今期(16年4~6月期)の業況判断D.I.値は、製造業が12、非製造業が15となった。前期(16年1~3月期)に比べ、製造業は同ポイントとなり、非製造業は2ポイント悪化した。

製造業では、大企業を中心とした生産の増加や企業収益の改善を受けて業況判断D.I.値が4四半期連続で好転企業超となり緩やかな回復基調となっている。一方、非製造業では、個人消費など需要面に回復に向けた力強さがみられず、足踏み状態となっている。

先行きについては、不透明感が払拭されていないことから、企業の景況感は当面緩やかな回復にとどまるとみられる。

業況判断D.I.値



2. 概要

(1) 製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(16年4～6月期)12と前期実績と同ポイントであった。業種別にみると、紙・パルプ、化学品、飲・食料品など7業種が改善し、鉄鋼・非鉄、精密機械、窯業・土石など5業種が悪化した。

来期(16年7～9月期)は今期見込みを1ポイント下回る見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは5と前期実績を7ポイント下回った。業種別にみると、紙・パルプ、飲・食料品など4業種で改善したものの、窯業・土石、プラスチック、電気機械など9業種で悪化した。

水準D.I.値の今期見込みは20と前期実績を5ポイント下回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは75%と前期実績を1ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは43と前期実績を5ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは8と前期実績を5ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは5と前期実績を4ポイント上回った。

(2) 非製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(16年4～6月期)15と前期実績を2ポイント下回った。業種別にみると、建設、サービスが改善したものの、小売、運輸は悪化した。

来期(16年7～9月期)は11とやや改善する見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは9と前期実績と同ポイントになった。業種別にみると、卸売が前期実績を上回り、小売は前期実績を下回った。

水準D.I.値の今期見込みは11と前期実績を3ポイント下回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは55%と前期実績を6ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは54と前期実績を13ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは4と前期実績を9ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは6と前期実績を2ポイント上回った。

3. 調査結果

(1) 製造業

今期実績見込み(16年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	12	前期比	0	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	5	前期比	-7	ポイント	
	(水準D.I.値)	20	前期比	-5	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	75 %	前期比	+	1	ポイント
	(投資額D.I.値)	43	前期比	+	5	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	8	前期比	+	5	ポイント
	(適正水準D.I.値)	5	前期比	+	4	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」、「商品(原材料)仕入価格の上昇」の順となっている

来期見通し(16年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	11	前期比	-1	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	5	前期比	0	ポイント	
	(水準D.I.値)	21	前期比	+	1	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	71 %	前期比	-4	ポイント	
	(投資額D.I.値)	37	前期比	-6	ポイント	
・雇用	(増減D.I.値)	6	前期比	-2	ポイント	
	(適正水準D.I.値)	4	前期比	-1	ポイント	

(2) 非製造業

今期実績見込み(16年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	15	前期比	-2	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	9	前期比	0	ポイント	
	(水準D.I.値)	11	前期比	-3	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	55 %	前期比	+	6	ポイント
	(投資額D.I.値)	54	前期比	+	13	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	4	前期比	+	9	ポイント
	(適正水準D.I.値)	6	前期比	+	2	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(16年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	11	前期比	+	4	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	6	前期比	+	3	ポイント
	(水準D.I.値)	10	前期比	-1	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	47 %	前期比	-8	ポイント	
	(投資額D.I.値)	38	前期比	-16	ポイント	
・雇用	(増減D.I.値)	8	前期比	-4	ポイント	
	(適正水準D.I.値)	5	前期比	-1	ポイント	